



NPO日本朗読文化協会

朗読ニュース

2016年春号

第8回朗読アラカルト



鴨川リーディングシアター



第93回八重洲朗読会

理事長 城所ひとみ



新年あけましておめでとうございます。

昨年は大きなイベントがすべて盛会の内におわり、それを追いかけているうちに1年があっという間に過ぎてしまいました。月日が年ごとに早く感じるのそれはだけ年齢を重ねたことなのでしょうが、でも私にとりましては NPO 日本朗読文化協会のイベントを追いかけているうちに年末が来てしまうというのが実感です。

おそらく当協会にお力を頂いている運営委員の方、理事の方もきっと同じ思いを持たれていると存じます。特に最近の当協会は「定款」の見直し会議、「朗読の日」の反省、今後の方針の会議とかなり真剣に詰めた議論を重ねて来ております。当協会も15年になろうとしているのですから、今諸々の問題点を洗い出し、検討しなければならない時期に来ております。

当協会のすべてのイベントもかなり定着し、認知度も高くなってきているのも今までの会員の皆様はじめ運営委員、理事のお力によるものです。でも敢て昨年、今年にかけてはもう一度しっかり足元を見つめ直し、さらなる当協会の発展を目指すべく会員一同が一丸となって進んで行くことが大事なことと思います。どうぞ皆様のお力を NPO 日本文化協会にお貸し頂きたく年頭にあたり心からお願い申し上げます。

○ 第8回朗読アラカルト

実行委員 中村悦子



第8回「朗読アラカルト」は12月5日(土)高輪区民センターで約220名のお客様をお迎えして行われました。今回も様々なジャンルの作品が並び、演出家のご指導、プロの音響・照明のもと作り上げられた出演者それぞれの10分間の世界に、お客様もたっぷり楽しんでおられたようです。お客様、そして出演者の満足そうな表情がとても印象的でした。

「アラカルト」は協会員どなたでも気軽に参加出来るイベントです。次回は、朗読会未経験の方もベテランの方も、ぜひご応募下さい。「朗読アラカルト」を皆で盛り上げていきましょう。最後にご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

朗読 アラカルト 第8回

主催 NPO 日本朗読文化協会

恒例の年末イベント!

2015年12月5日(土)

12時/開演 (11時30分/開場)

会場: 港区高輪区民ホール / 入場無料(全席自由)

港区高輪 1-16-26 高輪コミュニティがらぎ内
TEL: 03-5421-7616

地下鉄/南北線・三田線 白金高輪駅: 1番出口直結
ちいばす高輪ルート147番 高輪地区総合支所前下車

第8回 朗読アラカルト プログラム

2015/12/5(土) 高輪区民センターホール / 於 演出: 飯田輝雄

司会: 松本由美子

Aステージ/12:00~13:20		Cステージ/15:05~16:25	
「ビール」	村上 春樹	添川江利子	江國 香織
「白いぼうし」	あまんきみこ	武藤千恵子	松谷みよ子
「おかあさんの木」	大川 悦生	内堀 秀江	鶴田 佳子
「オトナになった女子たちへ」	伊藤 理佐	北村 敏子	永沢 淳美
「アジサイ」	橋 鳩十	福井千鶴子	大川 悦生
「ライオンと子犬」	山本 有三	藤沼 昌子	樋口 一肇
「雪の夜の話」	太宰 治	山元 智子	稲葉 慶子
			「カチカチ山」お伽草紙より
			太宰 治
			「愛よ、愛」
			岡本かの子
			「高瀬舟」
			森 鷗外
			菊地 崇之

司会: 池田美智恵

Bステージ/13:30~14:50		Dステージ/16:40~18:10	
「海のもの」と山のもの」	窓ぎわのトットちゃんより	中田由美	重松 清
「犬の銀行」	栗原 健子	林 たのし	杉浦 貴子
「ざくろ」	山本海五郎	松下 光子	「愛、深き淵より。」筆をくわえて描った生命の記録
「鼓くらべ」	内田美智子	小泉 幸子	里野 雷弘
「いのちをいただく」	竹内 浩三	菊地 宏	「白い花」掌の小説より
「骨のうたう」	林 美美子	市原夕ツ子	川崎 康成
「悪魔の3000年」	中村うさぎ	黒川 公代	角田 光代
			「羅生門」
			芥川龍之介
			「春の雷」
			三島由紀夫
			「学徒出陣で戦死した叔父からの葉書」
			望月 鏡子
			「父」
			芥川龍之介
			深澤真理子

■開演後の時間はおよその目安です。■出演者の朗読中の入退場はご遠慮頂いています。

お問合せ / NPO 日本朗読文化協会 〒107-0052 港区高輪3-8-8 赤坂フーラルプラザビル3F
TEL: 03-3584-4451 / FAX: 03-3584-4452 / e-mail: npo-rodoku@rodoku.org / http://www.rodoku.org

朗読アラカルト ～出演者たちの声～



呉 書汎 ●大学の先生の影響で、2015年4月から朗読を始めました。朗読歴が浅くて、緊張は勿論ありましたが、「いのちをいただく」という作品に出会えたおかげで、ワクワクのほうが大きかったです。最初にこの作品を読んだとき、強く心打たれました。自分の声で表現したいと思いました。外国人なまりや方言の読みが少し気になりましたが、練習通りにすれば、大きな問題はないと心を込めて朗読しました。最初に囁んだとき、さすがに焦りましたが、何とか持ちこたえて最後まで読み切りました。応援に来てくれた友人が「感動しました」と評価してくれました。「朗読アラカルト」初出演としてはまあまあのお出来。日本での思い出がまたひとつ増えました。



菊地 宏 ●Aステージ終了。急ぎ会場を出て楽屋へ、舞台袖の出演者控え室へ。Bステージ開演。一番手舞台へ。初舞台という大学院生の顔が緊張、近くでベテランが台本を小声で読み続ける。出番が来た。薄暗い舞台中央に進み椅子に座る。間を置き下を向いて大きく息を吐く、照明が来ない。顔を上げる。演出家がタクトを振るように手を動かし始めた。照明入る。もう一度息を吐き読み始める。「戦死やあわれ」声の表情が意図した声と微妙に違う。修正しなければ…、読み進める。二番目の詩「みんなして飲んだ」。意図した声が出た。この調子だ。読了。暗転。我流で仕上げた読み、詩人竹内浩三の心が通じただろうか。照明。立ち上がり礼(有難うございました)。



吉川 京美 ●私の朗読経験は長いですが、まだまだ学びたいことが数え切れない程沢山あります。今回はまず、岡本かの子さんの社会的評価のうち、どちらかと言えばマイナスイメージをお聞き頂き、次に岡本かの子作「愛よ愛」を、彼女の飾らざる本心を社会への反論として聞いていただきました。彼女の著作には家族(夫一平、息子太郎、兄)への偽りのない愛情いっぱいがあります。これからもこれらの作品に触れあって行きたいと思います。この会には多くの先輩方が出演されており、とても緊張しましたが、よい経験をさせて頂き感謝申し上げます。



羽村 郁子 ●「春は花 夏ほととぎす 秋は月 冬雪さえて涼しかりけり 道元禪師」三十一文字に心が動くようになったのはいつからだろう…協会に入会し古典を学び読みたい作品が拵がった。アラカルトは3回目。「利休にたづねよ」「西行花伝」そして今回「春の雪」今年は三十一人、三十一本の色えんぴつがエントリー。描かれた時代や人物に思いをはせ作品に向き合う時間は、雑多な日常の煩わしさから解放される至福の時。声に出して読んでいる時が一番楽しい。周到!?な準備をしていざ本番。舞台袖で先輩スタッフから多くの活を頂きプロ仕様の舞台へ。一步踏み出したら一人だ。静寂の中聴いて下さる方々の気配を感じる。届けたい思いを受け取ろうとして下さる方々がいる喜び…少しずつ自分の色味を拡げていきたい。最後にお骨折り頂いた皆様に深く感謝申し上げます。



望月 鏡子 ●戦争を伝えなければならない世代だと思っている。終戦70年の昨年「火垂るの墓」を母校の小学校等で読ませて頂くよう校長先生方をお願いしてあった。が、思わぬ怪我で全て中止。せめて「70年」の内に、学徒出陣し、23歳で戦死した叔父の訓練基地からの便りの束を編集して読みたいと思った。鮮やかな記憶がある。戦地へ赴く軍服姿で1分停車の列車のデッキに立っていた叔父に、姉妹の叔母達が「達ちゃんこれ！」と祈るように手渡した、好物のはったい粉を溶いたお椀。ニコッと受け取り、左手に抱えて敬礼した最後の姿。「『御国に薫る櫻花』として潔く散るのが男の生き方」と決意しつつも、その実、悩み苦しみ、怖れ、生きたいと願う心の内を仲好しの次兄にだけ吐露して、戦友の母上に投函を頼んでいた20通の手紙。初対面のお客様がお二人、「よくぞ読んで下さった」と感謝を伝えに来て下さった。





設立 15 周年記念公演 「朗読の日 2016」



実行委員長
松島 邦

新しい年がスタートしました。今年は NPO 日本朗読文化協会が設立 15 周年を迎えます。6 月 18・19 日、協会の柱ともいべき博品館劇場での「朗読の日」公演は、実質開催数は 14 回目。私は全回参加。毎回この公演を節目として、練習し、迷い、舞台での失敗を重ねながらも成長してきた感が致します。この度「実行委員長」をとの要請があり、到底無理、私に何が出来るのかと迷いましたが、先人の足跡を辿ればいいのだ、僅かな経験はある、出来る限りやってみよう、楽しくいい舞台を作る手伝いをしようとお受けしました。

そして演出の飯田さんを中心に、実行委員が作ったキャッチコピーのうち「本の魅力再発見！朗読 de 楽しむ名作選」を付けて、協会創立 15 周年のお祝い公演として「朗読の日 2016」を打ち出しました。コンセプトは、私達の朗読作品の源でもある「近代文学」に焦点を当てて 5 ステージに配し、更に様々なジャンルの現代作家群の作品をもじっくり、面白く聴いていただこうと言うものです。この総出演者・お手伝い・スタッフ・事務局等含め延べ 100 名。心ひとつにして盛り上げ、参加してよかったねと、思い出に残る「朗読の日」を作っていきます。皆さまのご協力を心からお願い致します。



演出家
飯田輝雄

2016 年の「朗読の日」まであと半年となりました。今年は NPO 日本朗読文化協会創立 15 年記念ということで、例年とは一味違ってスケールも大きく、皆さんに楽しんでいただける公演になればと思っています。

朗読作品のジャンルは今回大きく広がりました。夏目漱石、芥川龍之介、森鷗外、川端康成、谷崎潤一郎、太宰治、三島由紀夫など近代日本文学者が残した名作の数々・・・そして江国香織、浅田次郎、村上春樹、瀬戸内寂聴、田辺聖子といった現代の人気・話題の作家の作品・・・また宮沢賢治、新美南吉などの民話風なお話し・・・それに谷川俊太郎、長田弘などの詩集・・・また加賀美幸子さんの解説と講座の皆さんによる近代詩の朗読などなど・・・出演者の年代も幅広いです。10 代の学生から 80 代の大ベテランまで約 90 名以上が参加予定の“大朗読会”です。一人でも多くの人に朗読の魅力を届けたいと思っています。皆さんとの御協力のもと、素晴らしい公演となりますように・・・感動再発見！輝きましょう！朗読の喜びの種をまきましよう！！

イベント情報

第 10 回「かもめ朗読会」3 月 12 日開催

2004 年 4 月、NPO 日本朗読文化協会会員有志によって、ボランティアグループ「かもめ」が発足、2005 年 1 月、第 1 回「かもめ朗読会」が開催され、今年で第 10 回目を迎えます。今回の朗読会は、2 部構成からなり、1 部は、日頃、幼稚園や高齢者施設を訪問し、実践している歌、手遊び、言葉遊び等の内容を盛り込み、観客の皆様にもご参加いただき、楽しんでいただきます。また、2 部ではじっくりと心に響く朗読を味わっていただく内容です。

普通のおばさん、おじさん達であるかもめ会員のみで先輩達が築いて下さったルールをもとに、企画、構成、出演、演出もすべて自分たちで作る朗読会です。3 月 12 日（日）、高輪区民ホールへぜひ、おでかけください。ご一緒に楽しみましょう。（大月富久子）

お知らせ

理事・運営委員合同会議（1 月 7 日開催）承認事項

■新運営委員長

新運営委員長として 山村都・早川とし子の両名が共同代表に決まりました。

■「明日の協会活動方針・財政等を考える」（仮タイトル）タスクフォースメンバー選出について

協会設立 15 周年に当り、定款改定検討時から懸案となっていた協会諸活動の全面的な見直しを今年度中に作成し提案（目標 6 月）を目指す。

発足メンバーとして 伊澤逸平・飯田輝雄・飯島晶子・山村都・早川とし子・山田和雄（敬称略）の 6 名を選出。メンバーは固定ではなくオープンとし課題により増員予定。会員皆様からのご提案を事務局へお寄せください。財政問題だけでなく会員満足度向上と協会の一層の発展のために会員インタビューの実施も予定しております。



2016年2月～6月

日時	公演名	場所	出演者名
2月17日	第8回語り会「えん」公演	THEATER BRATS(シアターブラッツ)	内藤和美
3月4日	「高輪図書館朗読会」	高輪図書館	永井喜代子
3月5日	「太宰治が描く女たち」	下野新聞ニュースカフェ	青木ひろこ
3月6日	「夢見月のサロン」	恵比寿アートカフェ	飯島晶子
3月6日	お話し会「絵本でおさんぽ」・以後毎月第一日曜日	紀伊國屋書店新宿本店	赤間立枝
3月7日	第5回チャリティ朗読会「和・輪・話」	内幸町ホール	古内恵美子
3月上旬	DSAデジタル書道展示会	みなとみらい展示ホール	飯島晶子
3月12日	第10回「かもめ朗読会」	高輪区民ホール	ボランティアグループ「かもめ」
3月18日	北新朗読会	北新宿図書館	飯島晶子ほか1名
3月19日	「かかがやきコレクションファッションショー」	千代田区福祉まつり	飯島晶子
3月22日	清明—松戸源氏物語を読む会	Cafe de Kaori (香堡里)松戸	松森世津子・松田麗子・関まさ子
3月26日	第2回「つくば朗読館」	つくば市立ノバホール小ホール	内藤和美
3月26日	八重洲朗読会	八重洲ブックセンター本店8F	飯島晶子・市原タツ子・中村悦子・早川とし子
4月2日	第64回「ハートストリングス語りと朗読の会」	阿佐ヶ谷ストリングス	内藤和美
4月3日	声と弦とピアノによる「ハンガリーの音がたり」	栃木市栃木文化会館	茂呂久美子
4月22日	ふたりの部屋	千代田区立内幸町ホール	坂本有子・松島邦
4月23日	「音夢」第四回公演	江東区立東大島文化センター	永井喜代子
4月26日	第19回「語りの世界への誘い」	横浜イギリス館	山元智子
4月28日	青山の屋下がりⅧ	内幸町ホール	青木ひろこ・小黑三重子・田中邦子・望月鏡子
5月6日	吉田菊子 新作CD発表! 朗読&コンサート	東京倶楽部 本郷店	吉田菊子
5月10・11日	ふれさんぼうず5月の会	しもきた空間リパティ	内藤和美
5月13日	ヒルズサロン朗読会	六本木・ハリウッド・ビューティプラザ	未定
5月15日	樂(だんらん)	北とびあ(北区王子)	辰巳千和子・田中邦子・吉川京美
5月22日	第17回オーリーブ朗読会	むんぶの森文化ホール	古内恵美子
5月22日	リーディングカフェ「薔薇のある家」	宇都宮パ・ド・ドゥ	青木ひろこ
6月1日	「公津の杜」朗読会	ユアエルム成田店3階	永井喜代子
6月4日	月結第8回公演「能物語・小督」	栃木県総合文化センター	青木ひろこ
6月上旬	朗読茶話会	西浅草光門寺	松田麗子・松森世津子

会員情報

新入会員のご紹介 高梨芳子(敬称略)

事務局から

● 会員継続手続のお願い

2016年度年会費の払込用紙を同封しました。3月末日までにお手配をお願い致します。

● ボランティア保険加入のご案内

全会員を基本コースに申込みます。追加で天災コースをご希望の方は加入料 300 円を会費と共にお振込下さい。通信欄にその旨を記載下さい。

● 八重洲朗読会登録審査

八重洲朗読会への新規登録をご希望の方、3月末日までに事務局までお申込み下さい。

編集後記

2016年新しい年となりました。会員の皆様お健やかに新年をお迎えの事とお喜び申し上げます。2001年12月産声を上げたNPO日本朗読文化協会も15年となりました。朗読ニュースもホチキス止めの手作りの物からオールカラーの現在のものへと大きく変わって参りました。会員の情報が詰め込まれているこの朗読ニュース大いにお役に立てください。ご感想、投稿、なんでも一言、お待ちしております。

(早川とし子・吉松克子・川口和代・山田和雄)

朗読ニュース 2016年春号(通巻42号)
 発行日 2016年2月12日
 発行 NPO日本朗読文化協会
 理事長 城所ひとみ
 〒107-0052 東京都港区赤坂3-8-8
 赤坂フローラルプラザビル3F
 TEL:03-3584-4451
 FAX:03-3584-4452
 E-mail:npo-rodoku@rodoku.org
 http://www.rodoku.org/